

がん薬薬連携に関する 研修会

実施後報告

ご参加頂きありがとうございました。

10月21日に『令和7年度第1回がん薬薬連携に関する研修会』を開催いたしました。オンラインにて開催し、25名の方にご参加いただきました。

今回は当院の理学療法士から「がんリハビリテーションについて」、薬剤師より「がん悪液質と薬物療法」の講演を行いました。

がんリハビリテーションでは、がんリハビリとは？から始まり、リハビリ介入の流れ、病期によって介入の目的が異なることについてお話がありました。がん治療によってのADLの低下は仕方がないことですが、リハビリを行うことによって身体能力の元々のベースの改善、または治療によるADLの低下の幅を抑えられることがわかりました。また、リハビリテーションだけでは患者さんのADLなどの改善はできないということで多職種の多面的なアプローチが大切であるとお話がありました。

がん悪液質と薬物療法では、がん悪質液の基本的なところから唯一の治療薬であるアナモレリンについてお話がありました。がん悪質液については未解明なところもありますが、患者さんのQOLを低下させる要因の一つとなります。がんリハビリテーションにも関係してきますが、早期段階から介入しADL、QOLの低下を最小限に抑えていくかが大切です。

今後がん患者への質の高い治療提供に向けて研修会を開催していきますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

がんリハビリの流れ

がんのリハビリテーションに求められる役割

- ① 予防・早期改善
- ② ADL能力の改善
- ③ ADLの維持・QOL向上

出典: 第5回秋田県がんのリハビリテーション研修会資料

